

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	森の台保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 中村 雅彦	定員（利用人数）：	66（78）名
所在地：	226-0014 神奈川県横浜市緑区台村町633		
TEL：	045-929-5552	ホームページ：	https://hoikunokai.net/morinodai/
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2003年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 歩育の会		
職員数	常勤職員： 20名	非常勤職員：	14名
専門職員	保育士 28名	栄養士(外部委託業者)	1名
	看護師 1名	調理員(外部委託業者)	4名
	事務員 2名		
施設・設備の概要	居室数 保育室6室、調理室、事務室、調理事務室、絵本室、ランチルーム、乳児広場、休憩室、更衣室、調乳室、沐浴室、教材室、等	設備等	園庭、屋上園庭、エレベーター、駐車場、シャワー室、便所9室、等

③理念・基本方針

《保育理念》

『子ども一人ひとりの最善の幸せを願う』

《保育方針》

- ・保護者と共感し合える保育
- ・自然との関わりを大切にしたい保育
- ・人間形成と食育

《保育目標》

- ・健康で生き生きとした子どもに育てる
- ・衛生と安全保育に気をつけて、家庭的な雰囲気の中で情緒ある協調性のある子どもに育てる
- ・一人ひとりの個人差を考慮しながら、離乳・歩行・言葉の発達・運動機能等基本的な習慣を身につける

④施設・事業所の特徴的な取組

園は、近隣の恵まれた自然環境の中に立地しており、「自然との関わりを大切にしたい保育」を保育方針の一つとして明示し、日常の保育活動の中で実践しています。近くには緑豊かな多くの公園や里山があり、子どもたちは、戸外活動を通じて自然に触れながら育っています。天気の良い日には、近くの公園に散歩に出かけ、樹木や草花を見ながら季節を感じる時間を設けています。散歩に出かけた時は、地域の人たちと挨拶をしながら交流しています。また、「歩こう大会」では、「お掃除隊」と称して、ごみ拾いをしています。園庭や屋上では、子どもたちが体を動かして遊べるよう、設備環境を整備しています。園庭には、屋外遊戯場やシャワーを完備した幼児用のプールのスペースがあります。屋上は、天然芝を張って緑化するとともに、大きな飛行機の乗り物が設置されています。園庭や畑では、季節の野菜や花を栽培し、収穫をしています。また、砂場の周りには、キウイフルーツを植えています。収穫した野菜は、給食の食材に使用してもらい、子どもが野菜を食べることを援助しています。また、野菜を使って、製作活動を楽しんでいます。3～5歳児クラスは、園バスに乗って農園に出かけ、芋掘りを体験しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月5日（契約日）～ 2023年12月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆地域における子育て支援や地域貢献の活動を、園全体で推進しています

園の専門性や機能を生かした活動として、地域の子育て家庭を対象とした育児相談を随時受け入れ、相談に応じる体制を整えています。また、緑区が運営する「赤ちゃんの駅」に協力し、地域の子育て親子が、必要な時にいつでも立ち寄れる場所として来園できるようにしています。地域貢献への取り組みとしては、地域の生後6か月から2歳児までの子どもを対象に、一時保育を運営しています。緑区の「みどりっこまつり」には、職員2名が実行委員として参加し、運営に協力しています。また、地域の防災対策への協力においては、園の施設を避難場所として開放する、防災備品を備蓄するなどを行っています。

◆子どもが心地よく過ごすことができるよう、保育環境を整備しています

園生活において、子どもが心地よく過ごせるよう、園舎内の保育環境を整備しています。園舎は開放感のある造りで、保育室やホールには自然光が差し込んでいます。玄関の正面奥には、ウッドデッキの中庭が見える開放的なコミュニティコートを設置しています。また、多目的に使用できる共有スペースを設け、発表会などのイベントを行えるようにしています。廊下のフローリングは、自然素材を使用し、歩きやすく自然のぬくもりが感じられるように設計されています。トイレは、壁面装飾で明るい雰囲気になっています。各保育室には、温湿度計、空気清浄機、加湿器、エアコン、換気扇を完備し、清掃作業や空調管理を徹底しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

森の台保育園も20年目を迎え、日々の保育や運営について見直す良い機会をいただいたと思い、受審させていただきました。自己評価票を全職員へ配布し各々自己評価を行いました。それを回収し、主任、副主任と一つ一つ文書化し根拠とすり合わせ、作成いたしました。自己評価を行っていく中で、これまで以上に改善が必要なことや今行っている保育の自信になるなど、学ぶことや気付きも多くあり、日々の保育や運営に多く取り入れることができました。

今回の評価もとても高い評価をいただき職員一同恐縮ですが、とても喜んでおります。また、日々の保育を行っている職員へ感謝しております。

利用者調査にも、お忙しい中ご協力いただき本当にありがとうございました。皆様からいただいた意見などは、職員が勇気付けられるご意見もたくさんありましたが、課題であるご意見もありました。来年度の改善課題の参考にさせていただきたいと思っております。最後にこの第三者評価に携わっていただいた関係者の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり